



こんにちは 渡辺みのるです

1985年東村山市生まれ、31歳。

日本共産党

東村山市議会議員
活動地域
恩多町・久米川町・全生園
野口町・多摩湖町・諏訪町

第15号(2017年4月号)

市民の願いに正面から応えよ



代表質問及び予算特別委員会の詳しい内容は、市議団の市政報告会にてご報告します。(ウラ面参照)

市議会3月定例会で初の代表質問

東村山市議会3月定例会で、初めて代表質問に挑みました。(下に項目一覧) 昨年3月より、代表質問も一問一答になりましたが、時間制限もつくられ予定していた質問を全部こなすことができませんでした。今回はこのようなことがないように、念入りに準備をしていきます。

東村山から核廃絶の声をあげよ

国連では3月27日から、核兵器禁止条約制定に向けた交渉が始まりました。日本政府は、唯一の戦争被爆国として積極的に交渉に参加するべきです。

市長は「感情的には残念」としながらも「核保有国と非保有国との溝をさらに深める」と核兵器禁止条約に消極的な政府と同様の態度を示しました。

東村山市は1987年に「核兵器廃絶平和都市」を宣言しています。国際的にも核兵器廃絶に向けての機運が大きく高まっているいま、東村山をはじめ草の根から運動と世論を広げていくときではないでしょうか。

横田基地へのオスプレイ配備 市民のくらしを守る立場で反対を

在日米軍横田基地へのオスプレイ配備は、先日延期が発表されたものの配備計画そのものはなくなっておりません。

昨年12月、沖縄県名護市沖で墜落事故を起こしたことにより、市民の中にも不安がひろがっています。

市長は「市長会などを通じて、オスプレイの安全性の確認と説明を要求している」とただで、配備にたいしての言及はありませんでした。

東村山市は横田基地からわずか10kmの距離にあり、東村山の上空も米軍などの訓練空域になっています。住民の安心安全なくらしを守る自治体として、国や米軍に働きかけを行う必要があります。

社会保障の国保に責任をもて

国保は、加入世帯の8割が所得200万円以下という状況で、保険料が高すぎて払いきれないという声があがっています。市は、「公平性」を理由に国保への一般会計からの繰入を削減してきました。国も負担割合を減らしています。

国民皆保険の最後の砦である国保制度は、社会保障として公的な責任で運営することが当然であると考えています。安心して医療が受けられる制度にしていくためにこれからも取り組みます。

2017年3月定例会代表質問項目一覧

- 核兵器廃絶にむけて
 - ①東村山としての働きかけは
 - ②「宣言塔」を再建せよ
- 横田へのオスプレイ配備
- 原発事故避難者への支援打ち切りについて
- 予算編成について
 - (1)予算編成方針
 - ①目指す将来都市像とは
 - ②基本計画の活かし方
 - (2)まちづくり
 - ①生活道路の整備をすすめよ
 - ②抜本的な水害対策を
 - ③事前防災対策の強化を
- 特別会計
 - (1)国保にたいする考え方
 - (2)介護改悪について
- 職員体制について
- 待機児対策
 - ①認可保育園の増設を
 - ②保育士の待遇改善
 - ③国・都への働きかけは
- 保育園民間移管
- 児童クラブ民営化
- 生活困窮者への対策
 - ①実態調査を実施せよ
 - ②ホットシティの体制は
- 教育について
 - (1)道徳教育について
 - (2)誰も排除しない教育を
- 北山公園の保全について
- ごみ処理施設のあり方
- BCP策定にむけて
- 空き家対策について
- 高架下の活用について
- 都市計画道路の見直しを

渡辺みのるブログ

<http://wminoru.exblog.jp/>

ツイッター

@musashino_udon

フェイスブック

<http://www.facebook.com/watanabeminoru>

なんでもご相談ください！

2017年4月

渡辺 みのる 〒189-0011 東村山市恩多町 4-29-7

TEL : 070-2177-7629

mail : minoru_watanabe@ezweb.ne.jp

経営の視点では市民生活を守れない



新年度予算 共産党は市民の立場で追及

市議会3月定例会では、2017年度当初予算案が提案され、4日間の特別委員会審査されました。

共産党市議団は、新年度の予算が市民のくらしを応援する予算になっているのか、市民の切実な要求に応える予算になっているのかなど、市民の立場で追及・議論しました。

新年度予算では、これまでのように不要不急の大型開発に多くの予算が使われてはいませんでした。しかし、渡部市長が掲げる「経営の視点に立った市政運営」が前面に表れた予算になっていると分析し、市政運営は「経営の視点」ではなく「市民の目線」で運営すべきと反対をしました。

一方で、市民のみなさんと運動を広げてきたコミュニティバス新規路線の本運行の予算や保育士処遇改善、せせらぎの里多摩湖緑地の公有地化など、みなさんから寄せられた要望の一部も実現したことは貴重な前進です。(左記)

- ・コミュニティバス新規路線本格運行
- ・保育士処遇改善
- ・公立小中学校特別教室エアコン設置
- ・前川溢水対策
- ・せせらぎの里多摩湖緑地公有地化

実現した要求など

応えるべきは市民要求

市が優先して事業展開をしているものはどれも、国や都からの補助金が下りる事業ばかりです。その一方、市民からの切実な要求を実現するためや市民のくらしを応援するために、市が財政負担をして事業を拡充することには背を向けています。

地方自治体の本来の役割は、国や都の意向を施策に反映するのではなく、市民のくらしを充実させることにあります。いまの東村山市は、本来の自治体の役割をはたしていると言えるのでしょうか。

市民を守る市政目指し 声をあげ、行動を

安倍政権は、貧困と格差が広がり社会問題となっているなかで「社会保障費の自然増分を圧縮する」として削減に次ぐ削減を続けています。このような政府の路線にたいし市長は「ある程度やむを得ない」と容認する態度を示しました。

住民福祉の増進を役割とする自治体の長としてあるまじき態度であり、厳しさを増す市民生活を見ようとせず、市民の切実な声に耳を傾けない態度です。

日本共産党市議団は、市民の生活を守り、応援する本来の市政を目指し全力で取り組みます。一緒に、市民に暖かい市政を目指して声をあげ、運動を広げていきましょう。

渡辺みのる活動報告

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 3月17日(金) 東村山第四中学校卒業式に参加 | 4月5日(水) 東京都委員会主催国保学習会に参加 |
| 3月24日(金) 北山小学校卒業式に参加 | 4月6日(木) 大岱小学校入学式に参加 |
| 4月1日(土) 東京原水協定期総会に参加 | 4月7日(金) 東村山第二中学校入学式に参加 |
| 4月2日(日) 身患連・市後援会・多摩湖後援会各お花見交流会に参加 | 4月8日(土) 国民救援会東村山支部定期大会に参加 |
| | 4月9日(日) ・東京土建小平・東村山支部第一回定期大会に参加 ・諏訪町・久米川町4・5丁目後援会総会に参加 |



4月3日(月)の朝宣伝の様子(写真は尾崎都議)

市議団法律相談

毎月第3水曜日

要予約：お気軽にお電話

下さい

～渡辺みのる携帯～

070-2177-7629

日本共産党市議団

市政報告会

2017年5月6日(土)

東村山市民センター

第一集会室